

令和5年度

奈良県公立高等学校入学者特色選抜学力検査問題

# 国語

注 意

- 1 指示があるまで開いてはいけません。
- 2 解答用紙には、受検番号を忘れないように書きなさい。
- 3 解答用紙の※印のところには、何も書いてはいけません。
- 4 答えは必ず解答用紙に書きなさい。

一 次の文章を読み、各問いに答えよ。

写真は「窓」か、それとも「鏡」か。

写真について語るとき、こんな問いが発せられることがある。アメリカ・ニューヨークにあるニューヨーク近代美術館(MOMA)の写真部門のキュレーターを長年していたジョン・シャーカフスキーによる有名な言葉だ。これはシャーカフスキー自身が1978年にMOMAで企画して開催された「Mirrors and Windows」(鏡と窓)展に由来する。まず、「窓」とは何か。簡潔に言えば、写真を通して外の世界を見ることを指している。ファインダーの向こうが窓の外と考えるとわかりやすいだろう。カメラは外界を見るため、体験するための窓ということになる。

カメラは当然、部屋の外に連れ出すことが可能だから、撮影された写真も鑑賞者にとつての「窓」となる。遠くへ出かけることなく、自分の知らない世界を文字通り「窓」の向こうに見ることができ。つまりファインダー、写真という二つの意味での「窓」がここにある。

おそらく写真の発明直後、この「窓」の機能が人々を魅了したはずだ。そして、現在もそれが最大の魅力であることに変わりはないだろう。SNSにとつても、この「窓」の役割が最も一般的なはずだ。現在ではスマートフォンが登場によって、すべての人が窓を携帯しているともいえる。

それに対して「鏡」はどうだろう。こちらは少し複雑だ。鏡の機能を確認してみよう。鏡は光を忠実に反射させる。そのことにより鏡面に像を映す。もちろん、その機能はカメラにはない。だから少し抽象的、象徴的になる。自分の姿を投影する、あるいは心情を映すという比喩的な意味合いになる。実際、鏡に反射した自分の姿を映すなら、

(注) キュレーター＝博物館・美術館で展覧会の企画などを行う専門職員  
ファインダー＝撮影範囲を見定めるためにカメラに取り付けられたのぞき窓

SNSに登録された利用者が交流し、写真や動画の投稿などもできるウェブサイトの会員制サービス  
セルフポートレート＝自分で自分の姿を撮影した写真

- (一) Aの漢字の読みを平仮名で書き、Bの片仮名を漢字で書け。
- (二) 線①と熟語の構成が同じものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。  
ア 新春 イ 永久 ウ 水解 エ 乗船
- (三) 線②とは、それぞれ誰にとつての「窓」か。文章中からそれぞれ三字で抜き出して書け。
- (四) 線③とは、どのような「意味合い」か。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、その記号を書け。  
ア 鏡面に映った自分の像を撮影するという意味合い  
イ 自分の心情を他者が映すという意味合い  
ウ 自分自身の心情を映すという意味合い  
エ 他者の姿を撮影するという意味合い
- (五) 線④とはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。  
ア すべての写真が「窓」か「鏡」かに当てはまるわけではないという考え方は、写真の鑑賞には有益なこと。  
イ 写真が「窓」なのか「鏡」なのかを考えることは、写真を観ることに於いて役立つこと。

あきらかに「鏡」、つまりセルフポートレートということになる。だが、むしろそれ以外の意味合いで用いられることの方が圧倒的に多い。

ここで冒頭の「問い」を整理すると、果たして写真は撮影者、鑑賞者が外の世界を知るための「窓」としてあるのか、あるいは撮影者自身の姿や心を映す「鏡」としてあるのかというものになる。ただし、すべての写真が当てはまるわけではない。また、その必要もないだろう。ただ、「写真を鑑賞する」という観点から考えると、この考え方は有効だ。少なくとも、写真を観ることにあまり慣れていない者にとつては、写真を観る・読む上で活用できるだろう。

一枚の写真を目にしながら、これは作者にとつての「窓」だろうか、それとも「鏡」だろうか、そのどちらなのだろうかと考えながら鑑賞することで、気づきを得られたり、大きなヒントを得られたりする。言い方を換えれば、それまで一枚の写真をただ漠然と眺めていた場合とは違った見方を得ることができ。なぜなら、写真を「窓」か「鏡」かに分類しようとするのは、写真に対して能動的な姿勢を持つことにつながるからだ。

もう少し具体的にいうと、ある写真を見て「鏡」だと感じたとしても、すると、自分はずいぶん、その写真に対してそう感じたのかを自問することになる。答えを求める過程で、写真の裏側にある「ハイケイ」について考えることになる。あるいは、撮影者が撮影したときの状況などが気になってくる。そのことによつて、自分なりの回答が見つかるかもしれないし、見つからないかもしれない。あるいは混乱するだけかもしれない。ただ、それはそれほど重要でない。おそらく答えは人の数だけあるだろう。つまり、その思考の過程こそが重要だと私は考える。写真と自分との間に思考の反復が生まれるからだ。

(小林紀晴「写真はわからない 撮る・読む・伝える——「体験的」写真論」による)

- ウ 写真を「窓」か「鏡」かのどちらで撮影するかを考えることは、写真の鑑賞に慣れることにも効果があるということ。
- エ 写真を通して世界を知ろうとする考え方は、積極的に写真を観ることにつながるということ。
- (六) この文章の述べた方の特徴として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。  
ア 冒頭の問いが普遍的なものであることを示すために、様々な例を挙げて具体的に述べている。  
イ 冒頭の問いの答えを模索する中で、筆者の論と複数の論とを比較しながら述べている。  
ウ 冒頭の問いの内容について詳しく説明しながら、筆者の考えを論理的に述べている。  
エ 冒頭の問いの答えを述べた後、資料を用いて読者に解説するように述べている。
- (七) この文章における筆者の主張を、文章中の言葉を用いて三十五字以内で書け。  
(八) 線部を全体の調和を考え、楷書で、一行で丁寧な書き。

□ 次の文章を読み、各問いに答えよ。

今は昔、公任（よみかみ）大納言（おほのなごん）、春のころほひ、白川の家に居たまひける時、しかるべき殿上人（みまもり）四五人ばかり行きて、花のおもしろくさぶらへば、見に参りつるなりといひければ、酒など勧めて遊びけるに、大納言かくなむ、

春きてぞ人もとひけるやまざとは花こそやどのあるじなりけれ

と。

〔今昔物語集〕による

〔注〕公任（よみかみ）平安時代の歌人　大納言（おほのなごん）大臣に次ぐ高官  
白川（しらかわ）京都にある地名  
殿上人（みまもり）帝が日常を過ごす御殿への出入りを許された人  
さぶらへば（あそぶ）こざいますので

(一) 線①を現代仮名遣いに直して書け。

(二) 線②とあるが、「殿上人」が言ったことを文章中から抜き出し、その初めと終わりの三字をそれぞれ書け。

(三) 文章中の歌の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 春がきて山里の様子について人から尋ねられるのは、私が山荘の主人として花に囲まれて暮らしているからであろう。
- イ 春がきて山里で暮らし始めたわけを人から尋ねられたら、私は花を育てるために山荘の主人となったのだと答えよう。
- ウ 春がきて山里に住む人のものを訪れたところ、花の世話をし暮らす姿はまさに山荘の主人であることよ。
- エ 春がきてようやく山里に人が訪れたということは、この山里では私ではなく花が山荘の主人なのであろう。

(一) 線①を適切な敬語に直して書け。  
(二) 【話し合いの一部】における発言についての説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 春香さんは、計画的に話し合うために、検討する事柄の順序を確認してから考えを述べている。
- イ 春香さんは、話し合いの目的に沿って、それだ話題を戻したり発言を促したりしている。
- ウ 若菜さんは、これまでに提出された意見を整理した上で、異なる視点から新たな提案をしている。
- エ 若菜さんは、話し合いをより深めるために、自分とは異なる意見に対して質問している。

(三) 次の□内は、線②に対する陽一さんの発言である。陽一さんの考えのまとめ方を説明したものととして最も適切なものを、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 春香さんや若菜さんの意見の問題点を探りながら聞き、その解決を図るために二人とは異なる観点から考えをまとめた。
- イ 春香さんの意見と若菜さんの意見との共通点に注意しながら聞き、二人の意見と合致するように考えをまとめた。
- ウ 自分の意見と、春香さんや若菜さんの意見とを比較しながら聞き、自分の意見と二人の意見との両方を生かして考えをまとめた。
- エ 自分の意見と、春香さんや若菜さんの意見との異なる部分に注意しながら聞き、二人を説得することを重視して考えをまとめた。

□ 春香さんの中学校では、来年度入学予定の地域の小学六年生に中学校の魅力を伝えるため、紹介動画を作ることになった。次は、生徒会役員の【話し合いの一部】である。これを読み、各問いに答えよ。

【話し合いの一部】

春香 今日動画の内容について話し合いました。意見がある人はいますか。

若菜 私は、行事の紹介がいいと思います。文化祭などの行事を楽しみにしている六年生は多いはずですから、きつと喜んでくれるだろうと思います。

陽一 来年度の文化祭は、地域の人を招いたらどうでしょう。

春香 それはいいアイデアですね。来年度の文化祭実行委員会で検討しましょう。では、今日の議題に話題を戻します。意見がある人はいますか。

陽一 はい。議題は動画の内容でした。私は、今年度の生徒会スローガンを盛り込んでどうかと考えます。私たちの目指す学校のイメージを伝えることができると思うからです。

若菜 なるほど。陽一さんは、目指す学校像を伝えたいのですね。その気持ちには共感しますが、生徒会スローガンは毎年変わります。六年生にとって、入学前のスローガンが必要な情報なのか少し疑問を感じました。

春香 私の意見も話していいですか。私は六年生のとき、中学校での学習に対して不安を抱いていたことを覚えてます。ですから、教科の種類や、教科ごとに異なる先生が授業を担当してくれることなどを動画に盛り込みたいと思います。

若菜 それはいいですね。六年生の不安を解消できそうです。

春香 ここまで様々な意見が出ましたが、陽一さんはどう思いますか。

(四) あなたは、文化祭での発表内容を決める話し合いをクラスで進行中に、司会をすることになった。あなたなら、どのようなことを心がけて進行するか。理由を含めて八十文字以内で書け。